









侍用集卷第九目錄

日取方角文段卷一

第一 天道神<sup>てんたうじん</sup>之方<sup>の</sup>を<sup>しる</sup>事

第二 歳德神<sup>さいとくじん</sup>之方<sup>の</sup>を<sup>しる</sup>事

第三 八将神<sup>はつしやうじん</sup>之方<sup>の</sup>を<sup>しる</sup>事

第四 八将神<sup>はつしやうじん</sup>方<sup>の</sup>吉凶<sup>きちうきん</sup>を<sup>しる</sup>事

第五 天德神<sup>てんとくじん</sup>方<sup>の</sup>を<sup>しる</sup>事

第六 金神<sup>きんじん</sup>七殺<sup>しちせつ</sup>之方<sup>の</sup>を<sup>しる</sup>事

第七 同方<sup>どうほう</sup>異說<sup>いせつ</sup>之<sup>の</sup>事



第八

金神毎月遊行方事

第九

令神四季遊行方事

第十

金神四季間日之事

第十一

月之塞を知り

第十二

日のおさぐりを知り

第十三

三鏡玉女の方を知り

第十四

太歳神最後討位を知り

第十五

凶會日之事

第十六

大將軍遊行方事

第十七

土公出入依居座大土小土を知り

第十八

土公變化之事

第十九

龍卧之事

第二十

四季の去用は把ちよす尺あり

第二十一

四季の去用は入日之事

第二十二

去用の間日あり

第二十三

天一神方事

第二十四

方伯神方事

第二十五

指神方事



第二十六 斗賀神方こかしのほう之事

第二十七 天宮神方てんくうじんのほう之事

第二十八 八足神方やくしん之事

第二十九 師傳之法しでんのほう之事

第三十 日よよみて行方吉凶ひまよよみてまわりのきうこう之事

第三十一 破軍方てんぐんのほう之事

第三十二 勝負方角秘傳しやうぶふたうかくひでん之事

第三十三 歳之宿さいのしゆく之事

第三十四 四季宿しきのしゆく之事

第三十五 十二月宿つきのしゆく之事

第三十六 润月宿うるげつしゆく之事

第三十七 日宿ひのしゆく之事

第三十八 润月日宿うるげつひのしゆく之事

第三十九 嘉辰縁會時かしんえんくわいのとき之事

第四十 曜宿行やうしゆくぎやう之事

第四十一 曜宿迴やうしゆくまわ之事

第四十二 命業胎之三宿めいごうたいのしゆく之事

第四十三 命業胎之宿めいごうたいのしゆく之事



第四十 月使日を知り

第五十五 宿之本姓を知り

侍用集卷第九

日取方角文段卷一

第一

天道神の方を知り

正月 南行

二月 西南行

三月 北行

四月 西行

五月 西小行

六月 東行

七月 小行

八月 東小行

九月 南行

十月 東行

十一月 東南行

十二月 西行

右のまの袍衣と袴。鞆置初具足と蓑と。一切成統の方。或は不浄と。南行とは其月二十日の南より有と心得給下。



第一 大者に方はむらひ諸事をおすべし

第二 歳徳神の方を知事

甲巳年ハ 甲方ヨリ 寅卯の間にあり

丙辛年ハ 丙方ヨリ 巳午の間にあり

戊癸年ハ 戊方ヨリ 未辰戌の間にあり 或は巳午の間にあり

庚申年ハ 庚方ヨリ 申酉の間にあり

壬丁年ハ 壬方ヨリ 亥子の間にあり

右此方ハ大者也 門出法を知るのこともこれにあり

是等の武具を向せぬるあり 歳徳神ハ将神

乃母をり是を世間よ急とて云也 門出也

此方ヨリ 明の方とていつや年の始よ

此方ヨリ 弟事 一年に祈念をさすべし

第三 八将神の方知事

大歳神方	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
大將軍方	酉	酉	子	子	子	卯	卯	午	午	午	午	酉
大陰神方	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉
歳刑神方	卯	戌	巳	子	辰	申	午	丑	寅	酉	未	亥
歳破神方	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳
歳殺神方	未	辰	戌	未	辰	戌	未	辰	戌	未	辰	戌



黄幡神方	辰	戌	未	辰	戌	未	辰	戌	未
豹尾神方	戌	未	辰	戌	未	辰	戌	未	辰

右八將神の内太歳神のあり其年其方也此一神の方を以て七神を撰り勸告へ

第四 八將神方吉凶を知事

○太歳神方家と作城をさるるは向くより一必生  
 未とさるるをくす

○大將軍方惠方也此方八門出おれ事ゆに西表へ  
 傳云大將軍の歌は取懸へくは第一は出行を凶  
 大將軍ハ一方は三年さるる世は二年ふさぐり

先と云也

○大陰神の方第一は凶あり。法は縁色又災物  
 の道成純せざる也

○歳刑神方兵具と作法を行幕をたを収加  
 持およ向てより。ちをくかともを凶也

○歳破神方第一は凶に強は作事凶舟は家  
 西表へ。牛馬とむりひびざる也

○歳殺神方。傷と作養一佛祝の法ははし  
 弓矢を取よは凶也縁色の儀も凶也

○黄幡神方。幕旗をひくさるるは器具を作



り—重代等の賊寶と不収。摩利支天と念

加持するとするよを此にむくふ

○豹尾神方は方より向く大小便せび第より不浄を

凶方也牛する畜犬より生物不収。豹尾神を

じくひ入事を凶。天宮神は出るを凶。天宮神は豹尾

とつれらち遊行ありまもただ之ハ豹尾申よあ

まハ天宮ハ面よりまをるにらて出入ともよ凶と

心ゆ後—

第五

天德神方之事

正月 午未間

二月 未申

三月 亥子間

四月 酉戌間

五月 戌亥

六月 寅卯間

七月 子丑間

八月 丑寅

九月 巳午間

十月 卯辰間

十月 辰巳

十二月 申酉間

右はまの船を作初お仍舟乗門出城を立家作

方より大右の方也病者を加持するよとび

あよじくひする。但けられを凶也

第六 金神七殺の事を知事

甲巳年ハ午未申酉方也

丙辛年ハ子丑寅卯方也

戊癸年ハ子丑申酉方也

庚乙年ハ辰巳戌亥方也

壬丁年ハ寅卯戌亥方也



右の方門出あるより凶。津支家作爲大。

凶

第七 金神方異説之事

甲巳年ハ午未申酉 乙庚年ハ寅卯辰巳

丙辛年ハ子丑午未 丁壬年ハ寅卯辰巳

戊癸年ハ申酉子丑

右是も前のごとく用

第八 金神毎月遊行方之事

甲寅日 五日間南ニ在 丙寅日 五日間西ニ在

戊寅日 五日間中央ニ在 庚寅日 五日間北ニ在

壬寅日 五日間東ニ在

右の内中央ハ戊巳の方丑未辰戌ニ

第九 金神四季遊行之事

春ハ卯日 五日東ニ在 夏ハ午日 五日南ニ在

秋ハ酉日 五日西ニ在 冬ハ壬子日 五日北ニ在

第十 金神四季間日之事

春ハ巳日 夏ハ申日 秋ハ未日 冬ハ酉日

右金神遊行方も合神のごとく用。必其

方より行るるす。但此る日ハ方より不極也

たとへば金神行るとして日ハ門出あるへ一此日ハ



金神乃除日也

第十一月の塞を知事

正五九月ハ 少ヤ在 二六十月ハ 東ヤ在

三七十月ハ 南ヤ在 四八十月ハ 西ヤ在

右区又九月少ヤ在ハ小方へ不可行又云

春三月ハ東ヤ在 夏三月ハ南ヤ在 秋三月ハ西ヤ在

冬三月ハ少ヤ在是又少ヤ在也

第十二日の少ヤ在を知事

一日東 二日辰巳三日南 四日未申 五日西

六日戌亥 七日小 八日せ寅 九日天乾 十日地坤

右一日東ひがしふさぐりたるハ十日亦一日も東塞あり

他ハ可准知之此方ハ大將軍の方を指て云也ふ

くく可凶也又云 巳酉せ日ハ西方 卯亥未日ハ東

寅午戌日ハ南 申子辰日ハ小塞也

第十三三鏡玉女方を知事

正月 乙辛乾方 七月 坤巽艮方

二月 申丙庚方 八月 壬乾巽方

三月 乙丙丁方 九月 亥壬癸方

四月 丁癸乾方 十月 坤巽艮方

五月 甲丙庚方 十月 壬坤艮方



六月 甲乙丁方

十二月 庚辛癸方

右三鏡日月星の三ツ天人地の三ツ也。天道をまつり一切諸願成統の方也

南午 離火

北子 坎水



此ハワを以方角を以  
前書り引合可  
見也

第十 太歳神前後對位を知る事

春三月

甲子日 十日 太歳位  
庚辰日 五日 太歳位  
辛卯日 十五日 太歳前  
壬子日 五日 太歳前  
癸亥日 一日 太位

夏三月

甲子日 十日 太歳  
庚辰日 五日 太歳

甲戌日 六日 太歳對  
乙酉日 六日 太歳對  
丙午日 六日 太歳後  
丁巳日 六日 太歳後

甲戌日 六日 太歳  
乙酉日 六日 太歳



辛卯日十五日 太位  
壬子日 五日 太位  
癸亥日 一日 太後

秋三月

甲子日 十日 太對  
庚辰日 五日 太對  
辛卯日 十五日 太後  
壬子日 五日 太後  
癸亥日 一日 太對

丙午日 六日 大對  
丁巳日 六日 大對

甲戌日 六日 大位  
乙酉日 六日 大位  
丙午日 六日 大前  
丁巳日 六日 大前

冬三月

甲子日 十日 太前  
庚辰日 五日 太前  
辛卯日 十五日 太對  
壬子日 五日 太對  
癸亥日 一日 太前

甲戌日 六日 大後  
乙酉日 六日 大後  
丙午日 六日 大位  
丁巳日 六日 大位

右の季也 位とある所にては 行法等或ハ羽衣  
者ハ初メ物影と作付らる事出せし位ハ即チ  
不用 對とある所にては ことわりあり或  
君長のむすび 降来乃契幼ノ用 常とある所  
不可出納或ハ知納と 彼是ノ右 後ハ對面







十月

辛卯 絶陽

丁酉 絶陽

乙丑 孤辰

丁巳 陰陽 交破

壬子 歲博

戊子 陰陽 俱錯

壬辰 癸巳 甲午 乙未 丙申

戊戌 單陽 壬寅 了度 庚戌 陽錯

巳巳 陰陽 衝擊 丁丑 孤辰 戊戌 絶陽

巳丑 孤辰 巳亥 絶陽 辛丑 行狼

癸丑 陰陽 交破

丙午 陰陽 衝擊 壬子 陰陽 俱錯

十一月

戊子 遂陳

癸亥 陰錯

丁未 陽破 陰衝

癸丑 陽錯 壬子 遂陳

十二月

右節ノ意一ノかんクノぬし

三陰裁衣則有患

陽錯不向病人不殺罪人 陰道不可致帚治

衝陽不可勤公事 絶陰不可結嫁娘 君臣約凶

絶陽不可成結婚 單陰不食新米耕作凶 木實初不可食

單陽不可出財寶 陰位不可至病家

孤辰不可行不淨 歲博不可祈佛神

了度不可作解除 遂陳不拜佛神

行狼不可蔣種子 陰陽交破君臣嫁娘結凶

陽陰衝擊不可打人畜 陰陽俱錯出行深凶



○陰陽衝破不用奴婢

○陰錯絕陽造作凶

○陽破陰衝不打生類

○陰錯了度佛法甚凶

○孤辰了度佛法甚凶

○陰錯孤辰不可致訃詔

右此ともいひき。前の凶會日よりくくべふくつ  
しむる。敗之者大事の難はあふり。目前  
なるべし

第十六 大將軍遊行方之事

春 甲子日遊東方 五日

巳巳日還故本宮

夏 丙子日遊南方 五日

辛巳日右同

壬用戊子日遊中央 五日

癸巳日右同

秋 庚子日遊西方 五日

乙巳日右同

冬 壬子日遊北方 五日

丁巳日右同

右遊約のめをふくつ。いびへ。大將軍ハ一  
三年かゝる。ませとも。春ハ甲子日より。戊辰ま  
て東方より。りて。巳巳日りの。方へ。り。法也  
他准之。たと。ハ子年。丑年。亥年ハ。大將軍。西  
方におく。ます。あり。され。とも。春。甲子。より  
み。日。東。あ。に。あ。て。ん。ゆ。て。東。方。を。け。い。び。る。  
右。み。日。乃。同。ハ。本。西。あ。ハ。門。出。お。約。を。不。凶。と。ん  
得。し。是。を。以。他。を。知。し



春 夏 秋 冬

第十七 土公出入依居座大土小土と知事

戊寅日 至東方六日 小土 吉日

甲申日 至本取十日 大土 忌日

甲午日 至南方六日 大土 吉日

庚子日 至本取八日 小土 忌日

戊申日 至西方六日 小土 吉日

甲寅日 至本取十日 大土 忌日

甲子日 至小方六日 大土 吉日

庚午日 至本取八日 小土 忌日

古本取とハ虚空とさしていふ也は本取居座の

る教不可犯也。教生とすべくは

第十八 土公变化之事

春三月ハ在竈 夏三月ハ在門

秋三月ハ在中 冬三月ハ在庭

右云云ハ大地神也。變化とハ四季の安座會宅の依之。故よはてそのちとらう寸をくすし

第十九 龍卧之事

春三月 南小東西 夏三月 小南西東

秋三月 東西南小 冬三月 西東南小

右ハ地神の形大龍とて海へ身を大龍の腹背







第二十三天一神方事

巳酉	丑寅方	六日	乘蛇
乙卯	東方	五日	乘射
庚申	辰巳方	六日	乘鷹
丙寅	南方	五日	乘雉
辛未	未申方	六日	乘鹿
丁丑	西方	五日	乘虎
壬午	戌亥方	六日	乘龍
戊子	北方	五日	乘龜

癸巳日天一神天上―たまひ十六のおとく―ますそ

内日遊善神此五よ下向―後中あり

右天一神ハ帝釋の業取りて三界乃皆惡と  
 書するも有り然れども向く。帝尺の敵とならん  
 向く。子此まよ。向く。帝尺の敵とならん  
 ひよきあり。又唐よ。委射指を凶。射よ。委射川  
 狩す。他。是を以て。又日遊善神を  
 人。我。家。あり。と。恐。す。する。神。也。されハ  
 天上十六日。の。ら。ハ。造。作。と。凶。或。ハ。不。淨。と。凶。也。又。産  
 け。が。あ。の。女。と。あ。る。を。ハ。別。屋。の。額。と。つ。と。あり  
 不。淨。と。ふ。く。婦。婦。神。あ。る。故。よ。額。と。見。て。ま。り



たまはるはくも也。嫁娘を凶なり

第二十四方伯神方事

亥卯未、東方 申子辰、北方 巳酉丑、西方

寅午戌、南方

右大徳也。門出申行。弟の世まよ。向のまよ。ら。不成就方也。

第二十五指神方事

子日、五ツ目辰方、酉 戌日、九ツ目酉方、酉

寅日、十目亥方 卯日、五ツ目未方

辰日、五ツ目申方 巳日、六ツ目戌方

午日、八ツ目戌方 未日、六ツ目子方

申日、八ツ目卯方 酉日、十目午方

戌日、五ツ目寅方 亥日、七ツ目巳方

右は方と弟のみに凶也。軍よむ。ひる事。口論。よ。向。よ。大。凶。

第二十六斗賀神方事

子卯午酉日、十目 戌未辰戌日、七ツ目

寅申巳亥日、三ツ目

右十一目とハ子卯午酉かぞへく戌の方十目なり。他准之。此方を万事凶。神文とてす。



出たり。是三寶荒神遊行方也

第二十七 天官神方事

申子辰年ハ 亥方 亥卯未年ハ 寅方

寅午戌年ハ 巳方 巳酉丑年ハ 申方

天宮神ハ女神 狛尾神ハ男神也。是夫婦と  
まゝにす。神と向入をうろこび出るをにく  
み給あり。依松下人馬ハ牛馬を求るも此  
方より其家より人馬は死する事あり  
ふく凶へ。狛尾神ハむくひ入をにくみ給あり

天宮ハ前よするところ。後よあるをいふ。  
狛尾ハ前よするをにくみ。後よあるをいふ。  
とく侍給へ。具ハ侍神の狛尾の事。書  
出る也

第二十八 八咫神方事 世は友川と云

子日 四ツ目卯方 戌日 四ツ目辰方 寅日 六ツ目未方

卯日 六ツ目申方 辰日 八ツ目亥方 巳日 八ツ目子方

午日 四ツ目酉方 未日 四ツ目戌方 申日 六ツ目せ方

酉日 六ツ目寅方 戌日 八ツ目巳方 亥日 八ツ目午方

右此方ハ寶と納歌の首とくづみ。歌の起事。



味方の吉事をとすべし。味方を負死人  
 病人ありと此より行事を凶也。其意を  
 よいよ友川の方と号。但梅信昔より深凶也

第二十九 師傳之法之事

師傳の法とは、維の方角日取よし。吉事二つ西より  
 一つあまの悪くしをえんす。吉事よし用之。悪くし二  
 者よしあまの悪くしに用之也。是れあまの付と云。悪く  
 しと深大凶と書たるあまのしを付と。執持よりあま  
 又大吉とあるあまのしを付と。あまの悪くしをなして  
 用之よしあり

第三十 日よるりて行方吉凶之事

子日	東吉	南吉	西吉	小凶
丑日	東中吉	南悪	西吉	小凶
寅日	東大吉	南凶	西大凶	小大吉
卯日	東吉	南大吉	西大凶	小大吉
辰日	東中吉	南大悪	西吉	小大吉
巳日	東悪	南悪	西凶	小吉
午日	東凶	南凶	西凶	小悪
未日	東凶	南吉	西凶	小大吉
申日	東凶	南凶	西吉	小大吉



酉日	東凶	南吉	西吉	小大吉
戌日	東大吉	南大凶	西吉	小吉
亥日	東大吉	南吉	西大吉	小半吉

右此行方吉凶用へ

第三十一 破軍方之事

正月九日 二月六日 三月七日 四月八日  
 五月九日 六月十日 七月十一日 八月十二日  
 九月十三日 十月十四日 十一月十五日 十二月十六日

右正月九日とる子の時ありふより自辰方  
 向く守地を以てりやうと起へ九月五日

夫を耐ふる子耐は子よる心を得へし  
 ひるひ勝負事ゆと凶なり

第三十二 勝負方角秘傳之事

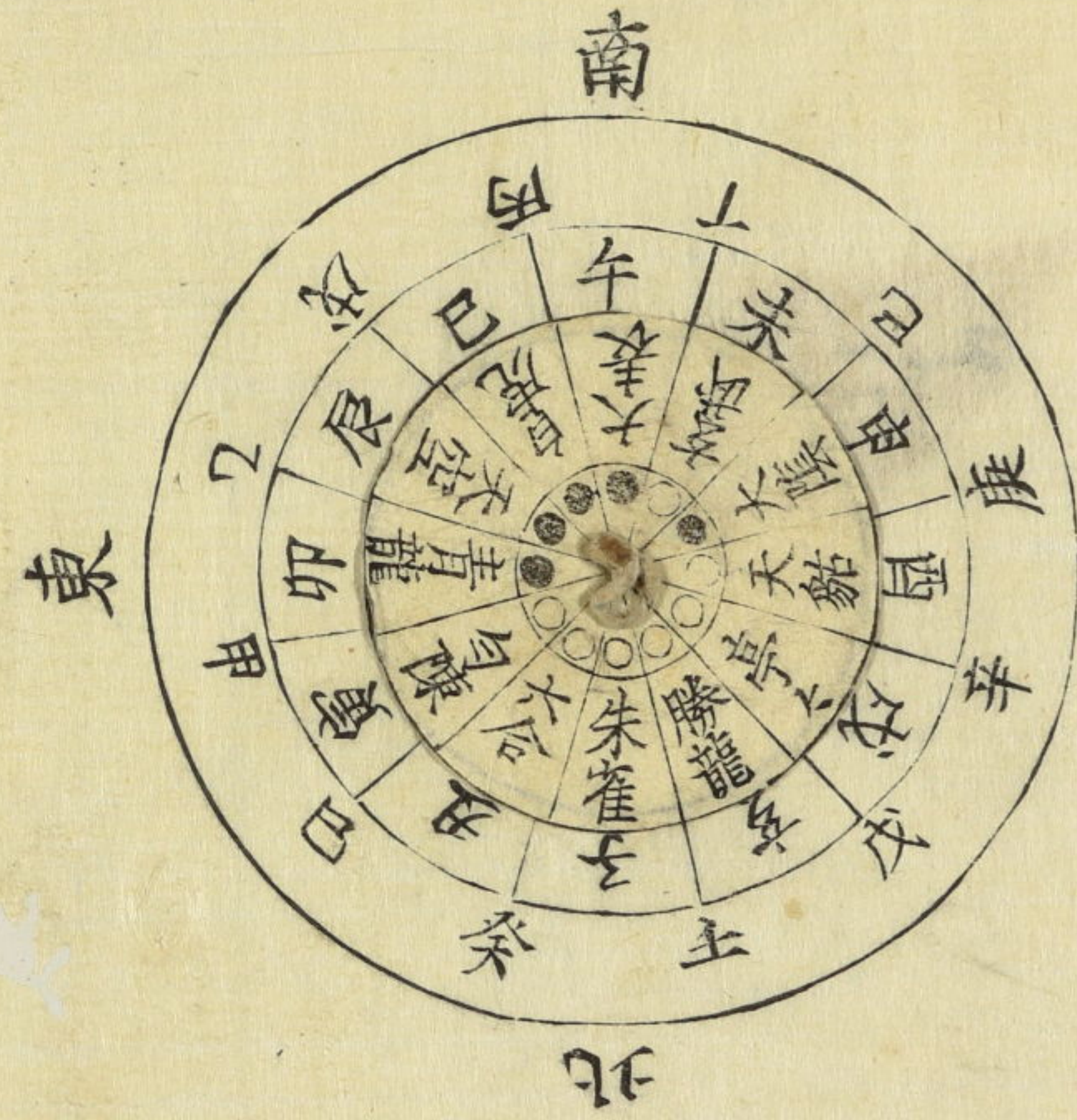
一 陰ハ和後よりよる出へ陽を晝最よりよる出へ  
 和を順に迎ふは逆は迎あり

一 後おとハその日の十干の後方の事也いづれあり  
 としも寅とよる出をりたるハ甲乃日あり

寅を寅の時よる出をりたるハ卯をとりて此時とあり  
 順逆を右の通りかきへ耐はありは真々を  
 あり吉凶をとりへ一他申しより時ありとの



よこあしは海にされも亭く者申之りは大事  
事なりと南の日の取源と日取し書也



山三

右之方角ハ大秘事也。白星とくろくあて。  
黒りよ白く。乾坤亭く白陳の二ツ大吉也。  
たぐ破軍指神の意方にむくよとくは星乃  
者とくろくあて。むくよ時ハ勝利を博す。  
な。又星をさく日取方角他の吉凶よる。  
但陽中の陰陰中の陽とりやう口伝也。

第三十三 歳宿之事

- 子年ハ女宿 子ハ木女ハ水 水生木年也
- 丑年ハ斗宿 丑ハ土斗ハ土 相伽年也
- 寅年ハ尾宿 寅ハ木尾ハ火 木生火年也



卯年ハ房宿 卯ハ木房ハ水 水生木年也

辰年ハ兌宿 辰ハ土兌ハ火 火生土年也

巳年ハ翼宿 巳ハ火翼ハ水 水剋火年也

午年ハ星宿 午ハ火星ハ金 火剋金年也

未年ハ鬼宿 未ハ土鬼ハ木 木剋土年也

申年ハ參宿 申ハ火參ハ金 火剋金年也

酉年ハ昂宿 酉ハ金昂ハ水 金生水年也

戌年ハ婁宿 戌ハ土婁ハ火 火生土年也

亥年ハ室宿 亥ハ水室ハ木 水生木年也

右五姓のつるさどる不又相剋相生を動物より

吉年凶年と之の口傳

第三十四 四季宿之事

春奎 夏婁 秋張 冬房 土用壁

第三十五 十二月宿之事

正二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二  
室 奎 胃 畢 參 鬼 張 角 氏 心 計 虛

第三十六 潤月宿之事

正二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二  
壁 婁 昂 簡 參 鬼 張 角 氏 尾 女 危

第三十七 日宿之事



十日	九日	八日	七日	六日	五日	四日	三日	二日	朔日	
井	參	觜	畢	昂	胃	婁	奎	壁	室	正
柳	鬼	井	參	觜	畢	昂	胃	婁	奎	二
張	星	柳	鬼	井	參	觜	畢	昂	胃	三
軫	翼	張	星	柳	鬼	井	參	觜	畢	四
兪	角	軫	翼	張	星	柳	鬼	井	參	五
房	氏	兪	角	軫	翼	張	星	柳	鬼	六
箕	尾	心	房	氏	角	軫	翼	張	星	七
虛	女	斗	箕	尾	心	房	氏	角	軫	八
室	危	虛	女	斗	箕	尾	心	房	氏	九
昂	胃	婁	室	危	斗	箕	尾	心	房	十
參	觜	畢	室	婁	胃	畢	參	胃	畢	十一
鬼	井	參	室	婁	胃	畢	參	胃	畢	十二
星	柳	鬼	室	婁	胃	畢	參	胃	畢	
軫	翼	張	室	婁	胃	畢	參	胃	畢	
兪	角	軫	室	婁	胃	畢	參	胃	畢	

廿日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日
房	氏	兪	角	軫	翼	張	星	柳	鬼
尾	心	房	氏	兪	角	軫	翼	張	星
斗	箕	尾	心	房	氏	兪	角	軫	翼
虛	女	斗	箕	尾	心	房	氏	兪	角
室	危	虛	女	斗	箕	尾	心	房	氏
奎	壁	室	危	斗	箕	尾	心	房	氏
昂	胃	婁	奎	壁	室	危	斗	箕	尾
參	觜	畢	昂	胃	畢	參	胃	畢	參
鬼	井	參	觜	畢	參	胃	畢	參	胃
星	柳	鬼	觜	畢	參	胃	畢	參	胃
軫	翼	張	星	柳	鬼	觜	畢	參	胃
兪	角	軫	星	柳	鬼	觜	畢	參	胃



二十一日	心	箕	女	危	壁	婁	畢	井	柳	張	角	氏
二十二日	尾	斗	虛	室	奎	胃	觜	鬼	星	翼	允	房
二十三日	箕	女	危	壁	婁	昂	參	柳	張	軫	氏	心
二十四日	斗	虛	室	奎	胃	畢	井	星	翼	角	房	尾
二十五日	女	危	壁	婁	昂	觜	鬼	張	軫	允	心	箕
二十六日	虛	室	奎	胃	畢	參	柳	翼	角	氏	尾	斗
二十七日	危	壁	婁	昂	觜	井	星	軫	危	房	箕	女
二十八日	室	奎	胃	畢	參	鬼	張	角	氏	心	斗	虛
二十九日	壁	婁	昂	觜	井	柳	翼	允	房	尾	女	危
卅日	奎	胃	畢	參	鬼	星	軫	氏	心	箕	虛	室

月支

三十一

右撈よみよよみくくんんぐぐるるささ也也又又此此日日月月のの宿宿のの月月ハ  
 於あるる也也又又時時宿宿ハハ願願日日のの宿宿ととせせ乃乃時時ハハ當當年年時時と  
 してして可可配配當當也也

第三十八 潤月日之宿ノ事

潤月うるつき六月七月十月の潤うるつきををくく前前の本本月月の三日乃  
 宿宿をを潤うるつき月月の朔しつ日日の宿宿ととすすままありありたたととハハ六月育よく  
 とと二二つつあありりとと前前の本本六月の朔しつ日日の宿宿ハハ朔しつ日日鬼き二二日日柳りゅう三  
 日日星せい宿しゆく之之此此星せい宿しゆくをを後のちの六月の朔しつ日日の宿宿ととすするるををあ  
 七月十月准これよりあらず之その其その外ほかの宿しゆくハハ皆みな本本月月の二二日日月月をを潤  
 月月乃乃朔しつ日日の宿宿ととすするるあり



第三十九 嘉辰縁會時之事

土	金	木	水	火	月	日	寅
火	木	土	月	水	金	日	卯
水	金	日	火	木	土	月	辰
木	土	月	水	金	日	火	巳
金	日	火	木	土	月	水	午
土	月	水	金	日	火	木	未
日	火	木	土	月	水	金	申
月	水	金	日	火	木	土	酉
火	木	土	日	水	金	月	戌
水	金	日	火	木	土	月	亥
木	土	月	水	金	日	火	子
金	日	火	木	土	月	水	丑
土	月	水	金	日	火	木	寅

右換よよと之。其日の曜と寅時よと日

月木の三曜と嘉辰縁會時と之。最上吉の時也。統中木曜と撰出。幸時万倍時と号を吉辰たるものあり

第十 曜宿行之事

安住宿	日	尾胃彰畢翼斗壁	上吉
和善宿	月	女鬼畢觜角房奎	上吉
毒害宿	火	壁翼尾參柳心危	不吉
急速宿	水	昂參柳鬼彰胃婁	上吉
猛惡宿	木	井氏鬼星張箕室	不吉
危躄宿	金	張奎房井兎女虛	半吉



剛柔宿 土

先柳星氏昂心鬼 大吉



此三ツハ接しよむ一黒八悪  
 白ハ吉但行のよき時ハ羅刹  
 推用。金月の二行也ハ

右曜ハ寅とよまお。宿と母とよま出也。彼ハ  
 其日月曜あつハ月曜と寅時よあつ。次第よ  
 卯辰とかそゆる也。又宿ハ母とよま出。午に  
 て越と爰迄一

第廿一曜宿廻振り

○安住宿の一行よ。日曜尾宿胃宿あつ。一行あつ。  
 曜宿相應の日よ。一日大吉と用。又和善宿の行。

急速宿。剛柔宿あつ。吉。一行よ。曜宿あつ。  
 相應日也

○安住宿の行乃尾宿。猛悪宿の行の本曜也。故  
 吉行の安住宿へくりあつ。時相應と用也。たつハ  
 猛悪宿乃本曜也。故。本曜と寅とよま出。

寅卯辰巳 未巳り。巳時よ。日曜あつ。お座するよ。  
 本金土日。うり巳時を用也。是と宿と定て曜と廻と云。  
 他の行は氣を以可准知

○悪宿。吉曜と定り。室宿ハ廻。日曜とよま  
 曜よあつ。たつハ。たつハ。丑寅 室壁 ぬそ。悪宿とせ



とよこ出——そ次くをたつひ相應の時を用。  
 右の壁宿おぬあよ寅の時を用。是を曜を定て  
 宿と廻と云

○酉宿悪曜と使事だといは惣画宿の本曜よ又  
 室宿の悪宿よあしりたる時。其下室壁とを  
 けり次乃金にく奎宿をたつひ奎宿ある故よ  
 卯の時を用也。室とせよあてをとる故よ。一宿二  
 つよなるあり室壁奎此くる也。他准之猛画宿  
 大悪の宿ある故よ。次の危躑宿へ越ありとん得治ふ  
 る。是を曜宿ともよ廻と云

○吉曜吉宿ありとも別行乃時ハ曜ありとも宿を  
 けりとも廻——二行おぬや——可用也

○悪曜の悪宿よて別行よあるとまはつれを定て  
 けりよまやうなりな一日悪日也

○宿之次第とハ  
 一室 二壁 三奎 四婁 五胃 六昂  
 七畢 八觜 九井 十鬼 十一柳 十二星 十三張 十四翼 十五軫  
 十六角 十七兎 十八氏 十九房 二十心 二十一尾 二十二箕 二十三斗 二十四女 二十五虚 二十六危  
 二十七牛宿と除て二十七也。是るよ廻する時次とだか  
 めるよ。二をたつひ十一をたつひ。是より  
 一とだつめるの心得也。他准之。又曜宿の二行悪時次の



行へ越時ハ二宿とてとどる故よりの宿とて  
いよいよいよいよとて二宿とていよいよ

遊去

第一十二命業胎之三宿

一命宿とハ 誕生日の宿を以壽命乃長短とてあり  
此命宿の姓肝心脾肺腎と五臓調適去現在未來  
と有人ハ長命也不足人ハ不足とて付て知  
又此命宿よつとて九宿とて功德善根大作佛事  
造立堂塔或書寫經卷祈念等事吉又凶事  
殺生等とて凶日吉凶使極の事ハ命宿九つと  
心得命乃長短とて九宿とて又換とて

ハの文字より命使日乃物よりりてれ吉凶を  
るべきなり

現在

一業宿とハ 誕生より十日目の宿を以宿因果を

さぐるなり是より未生以前の諍り腹中の果  
ありたるゆへなり是命宿のこととてありつ  
ある九つ此宿ハ 刑科嗜或ハ生捕夜討竊盜  
殺生等とて吉善根とて吉とて凶

未來

一胎宿とハ 業宿より十日目の宿也是を以胎内五  
位八點をさぐるなりたとハ母乃胎内とて五形あり  
故と六根不足ありと知是懷胎の母此政より







十二月廿九日誕生人

命宿 命 去 危 命 去 室壁奎婁胃昂畢觜

業宿 業 在 參 業 在 井鬼柳星張翼軫角

胎宿 胎 未 兗 胎 未 氏房心尾箕斗女虛

樂無安危成壞文觀

右め氏生日の宿を命と定。日次身にかうて  
九ツ命宿とく。十目を業宿とく。又  
九ツ又十目を胎宿とする也。宿乃生ハ元  
具一とるもなる

第廿二 月使目を知事

○榮 榮 無 磐昌のちろ海をくまよく。養子嫁娘或兵

具の旗幕を作或茲を立入幕事大吉日也

○讓 讓 有 疲勞乃らるるにふりて弟るよ凶。津よ門出造

作契約の儀よ凶。を差用等よ大凶

○危 危 有 七難當來の日也。必お陣門出弟事よ凶。津よ

殺よ依源凶

○成 成 有 万事成統の日也。祈会諸願等弟の成

契約入字よ大吉日也

○壞 壞 有 万不成就乃日之大惡日也。津家城を立る



深凶

支

万事凶日也。津出陣等或ハ災物ニ事祈詔  
の儀ハ大凶也。此日ハ凶日也。

親

嫁娘等ハ專此日と可用。腕契盟と云必  
るるに於て大吉日と云也。

右のハツ物ヨリヨリて吉凶と可分明也。必々衰

危壞三宿とハ萬事一世乃ハ可凶なり。又云

命宿乃九ツハ殺生と云。業宿乃九ツハ善

根と云。ハ子孫断絶具方ハハ災難来下。

胎宿乃九ツハ祈念等政と云。則吉也。事と

るセハ則凶ヨリ事と云。可慎。又宿

申ハ星彰箕のニツハ何の来ハあはると云。

災物嫁娶ハふく凶此ニツハ寡宿なり。リ

よハくさリ。又たハ正月朔。誕生乃人々

壁ハ榮ハあはる。一生乃壁宿をよと云。と

沙汰あるなり。又十二月廿九日誕生人ハ室ハ榮

あはる。故ハ室をよ。此日ハ又たハ。他准之

又正月朔。十二月亦。いと云。する。諸人

くるの事。ハ。なり。されハ月日乃。婚嫁を云。す。

十二月晦日の誕生ハ正月朔。とら。す。あ。ハ。云。



十二月大の月よそ。晦日の証生あくる室宿と命宿  
とする也。次第具よきるもくくかんぐたぶふ

第四十五 宿之本姓と知事

室木	猪	過去現在未來	肝心脾肺腎	不信宿
壁土	偷撞	過去	肝心	壽命宿
奎木	狼狽	過去現在未來	肝心脾肺腎	因業宿
婁火	狗	現在	肝心脾肺腎	田業宿
胃金	雉	未來	肝心	田業宿

昂水	雞	未來	脾肺	敬信宿
畢土	烏	未來	脾肺	惡性宿
觜水	猴	現在	肝心脾肺腎	慚愧宿
參火	猿狢	現在	肝心脾肺腎	炭富宿
井水	鷹雁	過去	肝心	遇寢宿
鬼木	羊	過去現在未來	肝心脾肺腎	諍論宿
柳火	獐	過去現在未來	肝心脾肺腎	財寶宿
星金	馬	過去	肝心腎	諂曲宿
張金	鹿	過去	肝心腎	音樂宿



箕金	尾火	心火	房水	氏火	充火	角木	軫木	翼水
狗狸	虎	玃	兔	貉	龍	魚鮫	蛆蟬	蛇
未來	未來	現在	過去現在未來	現在	過去	現在	未來	未來
肝心肺腎	肝心脾肺腎	肝心脾肺腎	肝心脾肺腎	肝心脾肺腎	心腎肺	肝心脾肺腎	肝心脾肺腎	肝心
无財宿	富智宿	貴多宿	富貴宿	富性宿	業有宿	妻子惡宿	巨富宿	無家宿

斗土	女木	虛土	危土
蟹鼈	豕	鼠	燕
過去	未來	過去	無三世
脾心腎	心腎	心腎脾	脾
不家宿	眷屬宿	富貴宿	无性宿

右五形をさくらに又膝し心とつけてるさき之  
 肝ハ財寶心ハ官位脾ハ住所肺ハ下人腎ハ  
 妻子にとる 命の處不足命とらう 業  
 不足ハ所作とらう 胎不足ハ六根不具と  
 急し右と以何の縁ふ縁とらんぐと知るし



侍用集卷第九終



公波之下

侍用集卷第十目錄

日取祕傳卷下

第一

一枚曆之事

第二

毎月吉日悪日之事

第三

日取習之事

第四

魚目とつふ傳授之事

第五

相生相剋を知らず

第六

相剋の相生を云ふ

第七

相生の相剋を云ふ

日取目錄



第八

四季王相之事

第九

大將の姓よりして門出の日吉凶

第十

相生相剋上下

第十一

回つゝひやりの事

第十二

相加吉凶の事

第十三

進勝進負之事

第十四

義経懐守の日叙

第十五

出陣吉日

第十六

孤座の勝負吉凶を知る

第十七

生死方

第十八

九天九地の方

第十九

軍始大吉時

第二十

門出大吉時

第二十一

天命日之半

第二十二

軍神まつる夜三日

第二十三

軍神まつるよじふさま

第二十四

天一神放箭時

第二十五

破敵日



第二十六 長經日ながきねひの事

第二十七 夜討よらたけ吉日よひよしの事

第二十八 摩利支尊天遊行方まはりしそんてんゆぎやうのほうの事

第二十九 兵術日ひやうじゆつひの事

第三十 兵具作大吉日ひやうぐひつるの事

第三十一 敵首てきのくび捨方すてるほうの事

第三十二 六十圖むそくずの事

第三十三 八卦はつぱさんくさんくの事すてやう

第三十四 卦けとくとくをゆゆの事

第三十五 卦けと吉凶きうきゆうの事

第三十六 星せい吉凶きうきゆうの事

第三十七 八卦はつぱ註しゆの事

第三十八 八卦はつぱよりよりてて出行しゆつぎやうを可いひ凶きの事

第三十九 八卦はつぱ之の次ついでの事

目録



日取秘傳

侍用集卷第十一

日取秘傳卷下

第一 一枚曆之事

<p>丙 <small>ひのえ</small></p> <p>寅 <small>天地福徳日</small> 三堂上吉日 兵校日 天恩日</p>	<p>乙 <small>まのえ</small></p> <p>丑 <small>下人迷て</small> 出陣 凶吉 合戦進勝日</p>	<p>甲 <small>きのえ</small></p> <p>子 <small>臣下と置</small> 一騎當千日 武官とす 出陣 吉</p>
<p>子 <small>万御鈔</small> 天地和合日 佛神祈念 吉</p>	<p>亥 <small>具足袴</small> 著初吉 神 吉</p>	<p>戌 <small>物と始て使ふ</small> 合戦進勝日 藏開</p>
<p>戌 <small>甘露日</small> 五墓日</p>	<p>酉 <small>立願 吉</small> 大明日</p>	<p>申 <small>合戦後勝日也</small> 大明日 神 吉</p>
<p>申 <small>城作大凶</small> 神 凶 千惡大敗日</p>	<p>未 <small>五墓日</small> 大明日</p>	<p>午 <small>主君(新)</small> 三堂上吉日 甘露日 万々吉</p>
<p>午 <small>金剛峯</small> 大明日 三堂下吉</p>	<p>巳 <small>金剛峯</small> 大明日 丁惡大敗日</p>	<p>辰 <small>一騎當千日</small> 大明日 金剛峯 三堂中吉 大賢入學に凶</p>
<p>辰 <small>一騎當千日</small> 大明日 金剛峯</p>	<p>卯 <small>出陣 吉</small> 惡事と 不向</p>	<p>寅 <small>進勝日</small> 造作 吉 出陣 吉</p>

侍用集卷第十一  
 日取秘傳卷下  
 第一 一枚曆之事  
 丙寅 寅 天地福徳日 三堂上吉日 兵校日 天恩日  
 乙丑 丑 下人迷て 出陣 凶吉 合戦進勝日  
 甲子 子 臣下と置 一騎當千日 武官とす 出陣 吉  
 子 子 万御鈔 天地和合日 佛神祈念 吉  
 亥 亥 具足袴 著初吉 神 吉  
 戌 戌 物と始て使ふ 合戦進勝日 藏開  
 申 申 合戦後勝日也 大明日 神 吉  
 酉 酉 立願 吉 大明日  
 未 未 五墓日 大明日  
 午 午 主君(新) 三堂上吉日 甘露日 万々吉  
 辰 辰 一騎當千日 大明日 金剛峯 三堂中吉 大賢入學に凶  
 卯 卯 出陣 吉 惡事と 不向  
 寅 寅 進勝日 造作 吉 出陣 吉



庚 あえ	巳 つる	戊 つる	丁 ひの
午 あえ	巳 つる	辰 つる	卯 ひの
辰 あえ	卯 つる	寅 つる	丑 ひの
寅 あえ	丑 つる	子 つる	亥 ひの
子 あえ	亥 つる	戌 つる	酉 ひの
戌 あえ	酉 つる	申 つる	未 ひの
申 あえ	未 つる	午 つる	巳 ひの

辛 あえ	壬 あえ	癸 あえ	室 あえ
未 あえ	申 あえ	酉 あえ	朔 あえ
巳 あえ	午 あえ	未 あえ	天福日
卯 あえ	辰 あえ	巳 あえ	未申酉戌亥子丑寅卯辰巳午
丑 あえ	寅 あえ	卯 あえ	
亥 あえ	子 あえ	丑 あえ	
酉 あえ	戌 あえ	亥 あえ	

第二 毎月吉日悪日之事  
吉日之分

卯日 木火 呂律

天福日  
未申酉戌亥子丑寅卯辰巳午

日比



鬼	柳	星	張	翼	軫	角	兗	氏
朔六月			朔七月			朔八月		朔九月
木律	火律	金律	金律	水律	木律	木律	火律	火律

十死一生	百死一生	千死一生	万死一生	亡日	大禍日	狼藉日	滅門日	五貧日
酉	戌	春	春	正	亥	子	巳	子
巳	丑	戌	巳	辰	午	卯	子	卯
丑	卯	未	夏	巳	申	酉	寅	酉
巳	辰	辰	亥	子	卯	子	酉	子
丑	午	寅	未	午	戌	午	辰	卯
酉	未	未	秋	七	巳	午	亥	午
巳	卯	未	亥	八	子	酉	午	酉
丑	寅	申	寅	九	未	子	丑	子
酉	酉	寅	卯	十	寅	卯	申	卯
巳	戌	寅	辰	十一	酉	午	卯	午
丑	辰	辰	巳	十二	辰	酉	戌	酉

井	參	觜	畢	昴	胃	糞	奎	壁
	朔五月		朔四月		朔三月		朔二月	
水律	火律	水律	土律	水律	金律	火律	木律	土律

天牢神	布酒星	万福日	一粒万倍日	大利日	地福日	天宝日	天德日
巳	土	子	卯	寅	申	辰	亥
午	九	丑	午	申	亥	午	子
寅	旨	寅	酉	未	巳	申	丑
子	吾	卯	子	午	辰	戌	寅
辰	音	辰	卯	巳	申	子	卯
寅	百	巳	午	辰	亥	寅	辰
卯	益	午	酉	卯	午	辰	巳
未	竺	未	子	辰	巳	午	午
酉	替	申	卯	寅	申	申	未
寅	丈	酉	午	子	亥	戌	申
卯	五	戌	酉	亥	寅	子	酉
卯	十三	亥	子	巳	寅	寅	戌

恩日之分

日下



危	虚	女	斗	箕	尾	心	房
	朔日 土月		朔日 土月			朔日 土月	
土呂	土呂	木呂	律呂 土木	金律	火律	火律	水

無翹日	血忌日	九坎日	往亡日	歸亡日	厭對日	厭日	減食日	八貧日
亥	丑	辰	七	丑	辰	戌	未	巳
戌	未	丑	六	寅	卯	酉	戌	酉
酉	寅	戌	五	子	寅	申	辰	丑
申	申	未	四	丑	子	未	寅	子
未	卯	卯	三	寅	子	午	午	子
午	酉	子	二	子	亥	巳	子	辰
巳	辰	酉	一	丑	戌	辰	申	亥
辰	戌	午	廿	寅	酉	卯	酉	卯
卯	巳	寅	廿一	子	申	寅	巳	未
寅	亥	亥	廿二	丑	未	丑	亥	寅
丑	子	申	廿三	寅	午	子	丑	午
子	午	巳	廿四	子	巳	亥	卯	戌

復日	重日	百鬼夜行日	不吊日	遠不行日	四季忌日	四惡日	道虛日	社日
庚甲	巳巳	子子	辰巳	酉巳	春	乙卯	一日	二月八日
辛乙	亥巳	子午	辰巳	酉巳	甲子乙亥	戊午	六日	中
巳戊	亥巳	午午	辰巳	酉巳	丙子丁亥	辛酉	十二日	前後
壬丙	亥巳	巳巳	辰巳	酉巳	七鳥日	壬子	十八日	近
癸丁	亥巳	巳巳	辰巳	酉巳	秋庚子辛亥		廿四日	也
巳戊	亥巳	戌巳	辰巳	酉巳	九虎日		晦日	前後同
	亥巳	未巳	辰巳	酉巳	冬壬子癸亥			
	亥巳	辰巳	辰巳	酉巳	六蛇日			



臘日神事嫁十二月ノ中ノ前後近辰是前後同

右毎月吉凶のくちやう月と八横よりの日を  
まよひんくちるべし縦ち天福日とある茶はま一  
仍ハ天福日と知一他准之又宿ハよこまよひ  
月の名はる茶とまき月の朝よあてて朝の二日  
三日と次力よまき奥つまらたらふ又正月のまよ  
まよひんくちるべし

○十箇の善日ハを吉日ハ用一し此日天守神々  
奉行人能後等相定り大吉也

○十死一生而死一生千死一生万死一生のゆ箇日ハ出陣也

源凶一

○二日ハ受病必死日也まよひハ不吉也

○大禍狼藉滅門の三箇日ハまよひハ凶也

大橋

狼藉

滅門

○五貧ハ貧減食の三箇日ハ寶と網と具と作是行な  
納等に凶一

○厭日厭對日ハ出行出仕對而落茶嫁嫁等ハ凶

○歸七往七日ハ出行開陣ホ大凶也從往七日正月七



宵の節より七日月よあふると心ゆへー

○九坎日ハ肉刃の垢を不潔を洗浴を凶

○血忌日ハ人馬の血をあやすべし汁灸を凶

○無翹日ハ嫁娶嫁納は凶

○復日重日ハ善事よ吉悪事よ凶但嫁娶は凶

○百鬼夜行日ハ秋討寺のびは行ゆを凶地獄にて秋討を凶

右ふおつてて魁号の事心をつけく吉凶を用へし

第三 日取習ふ

○合戦勝負吉凶と方角と進勝進員と勅時日を

大くんに吟味るべし

○出馬お船の門出りハ方角時日をくわしたじ

時文出船ハ可凶日多

○花道具を作又ハ長師才嫁娶乃契納は

入るなるといハ曆事よ半出りる吉凶を用又毛入

乃相懸をせ一にいし其外ハ大くんに吟味るべし

○大悪日大凶とある日といふ事事よなして用事な

くれり急用は依あつて時を以耀宿をあがし

よむ方よと時を以悪日をとるべし

○日取惣まらちと云々令業胎乃三宿を以せ

使日をとるべし其はそ人の姓相生相射を以時日方















大将火姓

夏丙丁日吉 春八甲乙日と用

秋甲乙日と用 冬甲乙日と用

大将土姓

四季土用吉 春八凶但丙丁日と用

夏八戊己日吉 秋八丙丁日と用

冬八凶但戊己日と可用

大将金姓

秋八庚辛日吉 冬八庚辛日と用

夏八壬癸日と用 春八戊己日吉

大将水姓

冬壬癸日吉 夏凶但壬癸日と用

秋壬癸日と用 春壬癸日と用

土用八大凶但壬癸日と用

右月日相伽又八月日より大将と相生ハ吉日と  
 する之より月の姓を以て刻するを凶也されども  
 急用の時ハ日越さるるより得る。縦ハ夏ハ火大将の  
 姓ハ木姓乃時夏の節三月のころハ大将の姓員  
 て月の姓勝るる在り是凶。然れども不計出陣し  
 候あつて壬癸日此水と用く。月の姓とよらるる  
 しく水生木と相生する也。是相生のお刻と  
 ぬき相生とする之。又秋ハ金大将ハ木金剋木と  
 月乃姓より刻するを凶。然る甲乙日の木相伽と  
 用月の姓とよらるる。大将の姓をつくるは是相



幼を用相剋とのそくのか別也他准之又歌味あ  
らぬも同お也或ハ歌將の姓を以味方の大将姓と  
剋ハ歌の相剋の日時と用皇と廻て歌を剋する方  
より剋る一たとハ歌水姓より水より居一と  
冬壬亥日の水より味方ハ南に在る大将火姓の時  
是歌より相剋して大凶也と云れども古姓乃人  
時の大将より未申辰巳の玉れより辰の時未  
乃時を用或ハ丙丁の日鬼宿等のちを用之かる  
時ハ歌を剋するらぬ也他可准之

第十 相生相剋上下之事

一 十支より十二支と相生の日は上より下へ相生也たとハ  
甲乙ハ未巳午ハ火なる故よ未生火と上より下へ  
相生也又丙丁ハ火寅卯ハ未なる故よ下より上へ相  
生也他准之

一 甲乙ハ未申酉ハ金なる故よ下より上を剋也又庚  
辛ハ金寅卯ハ未なる故よ下より下を剋也他准之

第十一 回使松之事

上より相生日ハ 佛神をまつり立札祈込事、出火人  
より家より物より出仕等より大吉也

下より相生日ハ 下人の物より付く汝或定役奉行人



法夜と定下とありめく 漢合評定

もと或軍より出くはそびうさる也

上下り相剋日 仏神より立彩せども人なる家の所法せ

す下より上へじうさるものと凶若くは殺ん

とちひ日を結ふは日を月へ

下より相剋日 下人より物を不中付定役出陣より凶

他より所法より不凶

第十二 相伽く吉凶く事

相伽 十下土支宿曜方ハ相伽吉 夫婦老長家地牛馬等相伽凶

第十三 進勝進負く事

は皇白ハ進勝黒ハ進負

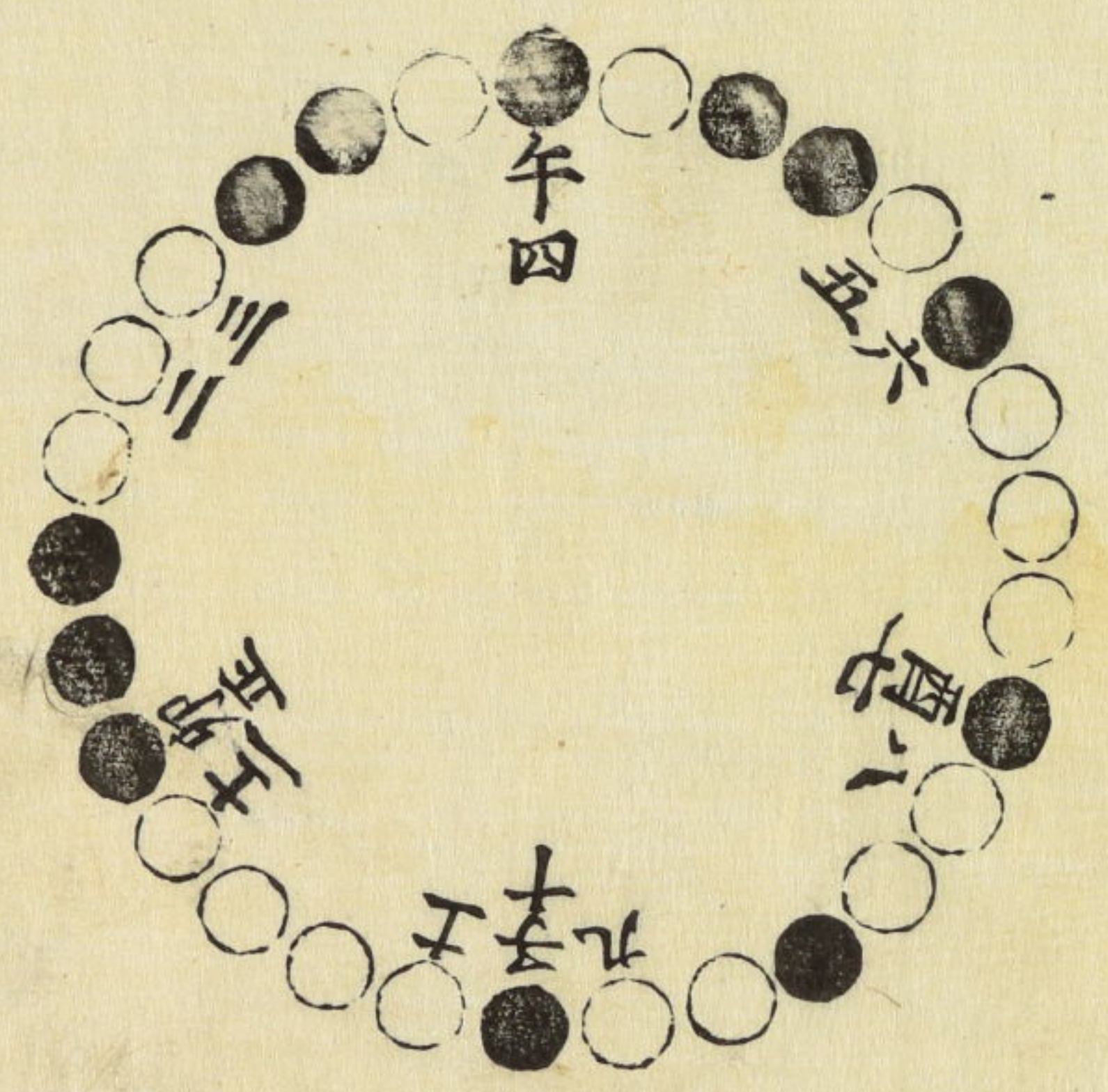
くりやう春集ハ逆下。秋冬ハ 順よりそゆる之

月の名と其月の朔日よとる也

大の月の晦日とハ廿八日とある一

十二支ハ方角とあるため也 時日ともに進勝ハ方とあるも

右日ハ進勝。時ハ進負ありハありくり之時ハ進勝 日ハ進負なりハありハ方角の進勝

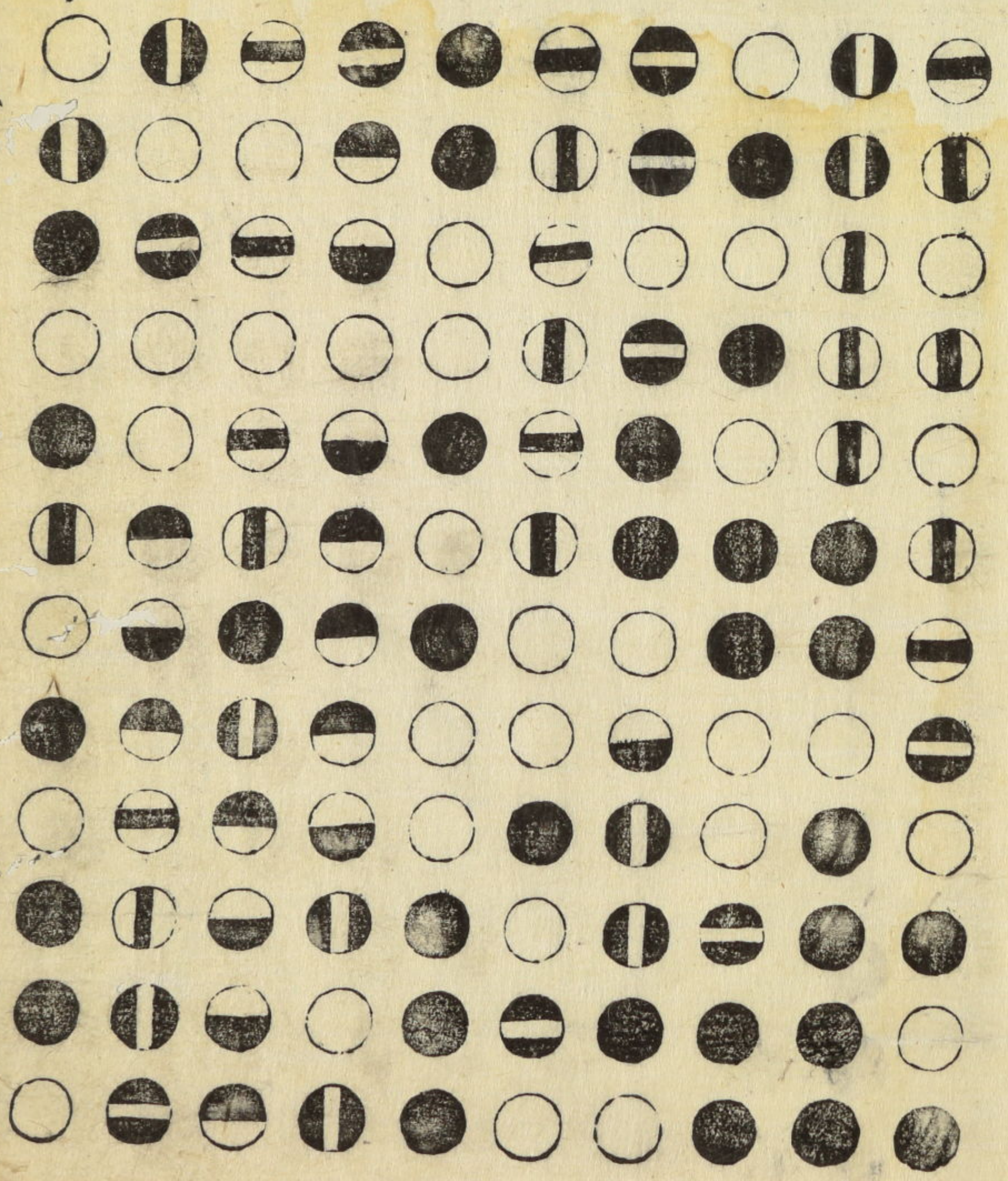




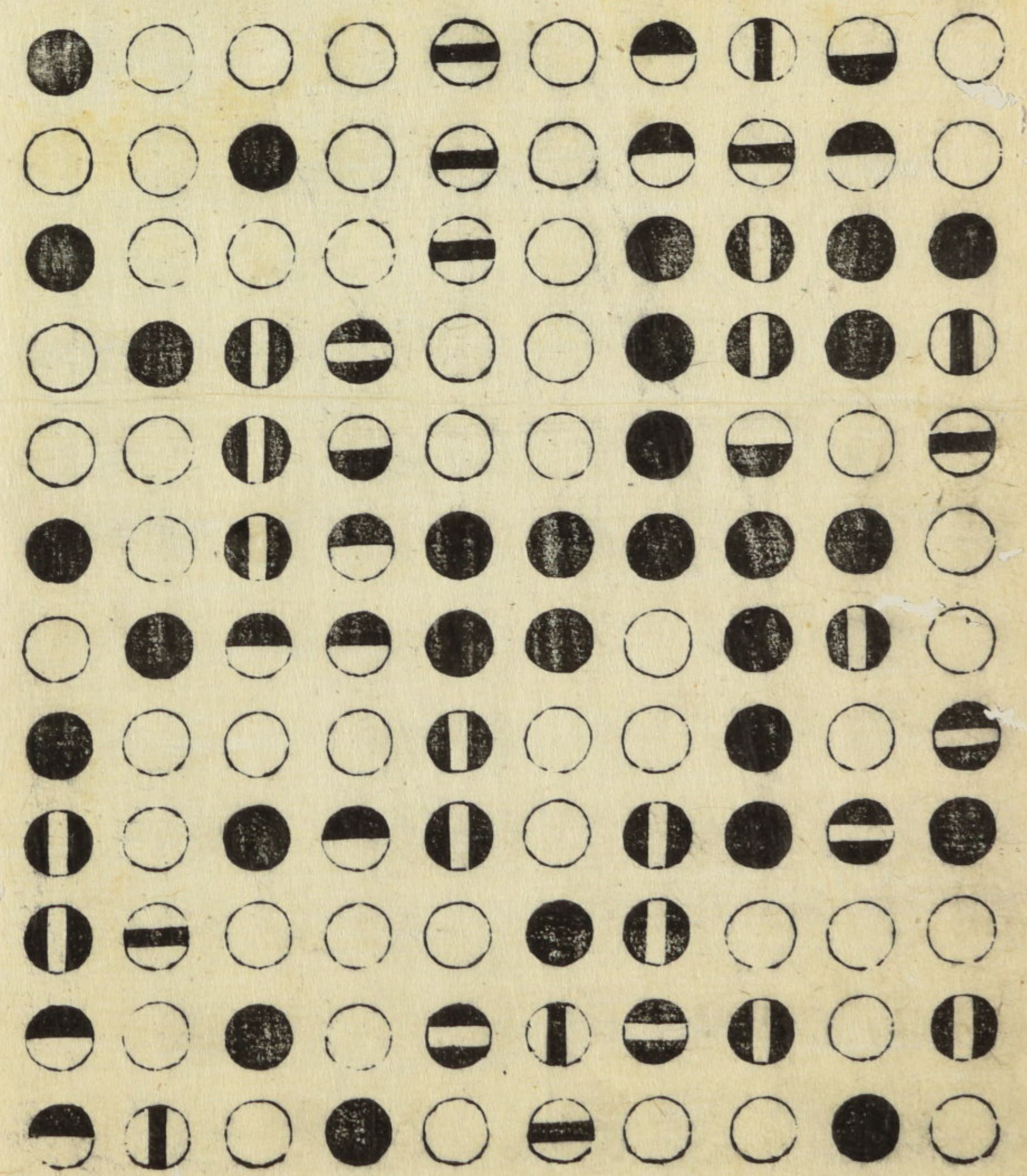




廿九日 廿八日 廿七日 廿六日 廿五日 廿四日 廿三日 廿二日 廿一日 廿日



十九日 十八日 十七日 十六日 十五日 十四日 十三日 十二日 十一日 十日



目  
三



右○ぬは一日進勝●二日進負●三日進勝●四日進負●五日進勝●六日進負●七日進勝●八日進負●九日進勝●十日進負●十一日進勝●十二日進負●十三日進勝●十四日進負●十五日進勝●

○ハあひくま ○ハあひひ川  
 くのやう。大の月の晦をハあひの向ふハあひの月乃  
 二日とあつこの日たハあひをあつとあつと一軍此  
 吉凶をさるるハあひ日取すこれハあひハあひハ極  
 細也

第十又 出陣吉日之事

正月 九日 十日 十一日 十二日 二月 七日 十日 十一日 十二日  
 三月 五日 十日 十一日 十二日 四月 三日 五日 十日 十一日

五月 朔日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日  
 七月 八日 九日 十日 十一日 十二月 朔日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日  
 九月 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十月 朔日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日  
 十一月 朔日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十月 朔日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日  
 右此日取ハ漢高祖用之敵追討の日取あり是則  
 我朝神功皇后此日出陣一たまひて異國を遠討  
 の日也大吉日也或三箇日天綱張日十死百死千  
 死万死一生此是の通日なりといふともは日ハ出陣  
 武道の評定する事大吉日也

第十六 孤虚の方とて勝負吉凶を知る



甲子より十日の間 孤戌亥より 甲戌より十日の間 孤申酉より有

甲申より十日の間 虚寅卯より 甲寅より十日の間 孤子丑より有

右孤とくろくろよあて虚に敵と置て向く  
博奕よ至迄得勝利也

第十七 生死之方之事

正月	生六子方 死六午方	二月	生六丑方 死六子方	三月	生六寅方 死六申方	四月	生六卯方 死六酉方
五月	生六辰方 死六戌方	六月	生六巳方 死六亥方	七月	生六午方 死六子方	八月	生六未方 死六丑方
九月	生六申方 死六寅方	十月	生六酉方 死六卯方	十一月	生六戌方 死六辰方	十二月	生六亥方 死六巳方

右敵と死あより味方を生し備てより又  
首に導よと首と死方よ至我の生の方に

第十八 九天九地の方之事

春ハ 寅方九天 申方九地  
夏ハ 午方九天 子方九地  
秋ハ 申方九天 寅方九地  
冬ハ 子方九天 午方九地

右大将と九天と九地と見てらへ

第十九 軍始大吉の時

甲巳日ハ寅卯時 乙庚日ハ戌亥時 丙辛日ハ申酉時  
丁壬日ハ午未時 戊癸日ハ辰巳時

第二十 門出大吉の時

日必下

十六



子丑辰戌日酉 寅卯申日午 卯午酉日未

巳亥日寅時 未日卯時

第二十一 天命日ノ事

正辰未二子午酉三辰未酉四子巳午五丑午未六子丑午七未申酉八子午酉九戌亥子十子丑午十一子申酉十二子丑未

右此日軍神を祭らすす弓箭の沙汰多凶

第二十二 軍神まつるべき日ノ事

正甲二甲三戌四卯五巳六丁七庚八庚九庚十癸十一丁十二巳  
正寅二卯三巳四未五酉六亥七卯八巳九未十酉十一亥十二卯

右此日ノ事之は向を可也

第二十三 軍神まつるにじふべき日ノ事

子日八巳方 丑日申方 寅日子方 卯日午方 辰日未方  
巳日亥方 午日子方 未日丑方 申日酉方 酉日亥方  
戌日丑方 亥日午方

右此方よじくひ祭るとして。矢を射へる事

第二十四 天神教前治日ノ事

正月七日 二月官日 三月卯日 四月卯日 五月六日  
六月十官日 七月八日 八月八日 九月七日 十月十日  
十一月三日 十二月晦日

右此日敵よじくひ。弓箭射然へし進勝日



第二十五 碓氷日之事

毎月節より廿二日目也。但没日ありハ廿二日めにあつて此日必不可出陣進負日也

第二十六 長短日之事

正月 七日 二月 十九日 三月 朔日 四月 九日 五月 廿二日

六月 十日 七月 廿三日 八月 八日 九月 三日 十月 朔日

十一月 十日 十二月 九日

右此日ハ人を殺害し凶日也

第二十七 夜討吉日之事

正二三四五六月ハ 庚辰 七月ハ 辛卯 八月ハ 乙丑 巳巳

九月ハ 庚子 十月 癸亥 十一月 甲申 十二月 壬寅申

又云 春ハ 寅 夏ハ 巳子 秋冬ハ 亥日吉

第二十八 摩利支尊天遊行方之事

子午卯酉日ハ 九ツ目 丑未辰戌日ハ 五ツ目

寅申巳亥日ハ 一ツ目

右此方の歌よむくはくす又兵具加持軍神をまつるよむく大志也其日十二支と方よあそく

第二十九 兵衛日之事

二月十日 四月三日 五月五日 六月廿日



八月十音 九月九日

右は只軍乃まつりごといし。此ら衆の入り  
大吉也

第三十 兵具作大吉日也

正月寅 二月子 三月巳 四月寅 五月丑 六月辰

七月巳 八月午 九月未 十月申 十一月酉 十二月戌

右此日 聖德太子守屋大兄退治日也。別而兵具  
作は大吉日也

第三十一 敵首捨る方く事

子日ハ午方丑日ハ巳方 寅日ハ申方卯日ハ辰方 辰日ハ巳方

巳日ハ午方申日ハ巳方 酉日ハ未方戌日ハ申方亥日ハ寅方  
右此日一捨へ一他破軍を凶

右此一巻ハ当流軍之日取秘傳也。前之文は奏よ  
素者凶と見へ一は書ハ急用と耐らうと云んた  
めの書也。せん相剋相生とりのやの儀或は書とる  
日よつひ。西日よ一と日よ一。あ一は時よ一と事  
よく相傳はとく物法一必日取ハとるそのよ  
するく子。相者雜色よ一とる事。此書よ一  
味則悪事。災難との。武運長久と一。傳文







庚子	壁土	庚戌	鍍金	庚申	柘榴木
辛丑		辛亥		辛酉	
壬寅	鐘金	壬子	栗木	壬戌	大海水
癸卯		癸丑		癸亥	

第三十三八卦のさんくわやう曰拾掇すまわ

一ツ十とハをまゝくニツよりかゝる也二八十六三八六四八世二  
 八四十六八八七八五十六八空位八九七五二とハツくける也  
 曰すくやうのりハ十六とハ十五とする廿位とハ廿とする  
 廿二とハ廿とする廿十とハ廿とする廿八とハ廿とする廿六とハ  
 廿とする廿四とハ廿とする廿二とハ廿とする廿とハ廿とする  
 八とハ三拾と可足傳つらる

第三十四 卦とかぞゆる事

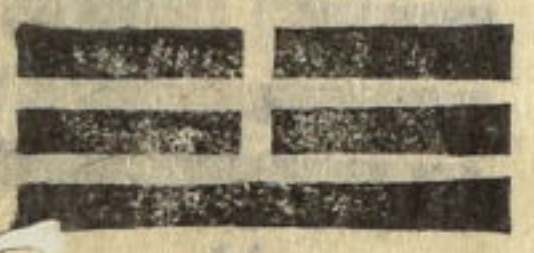
工順 陽男 初八 早八 八八 越  
 陰女 四二 八二 躍  
 下逆 陽女 十八 五十八 九十八 越  
 陰男 三十七 七十一 躍



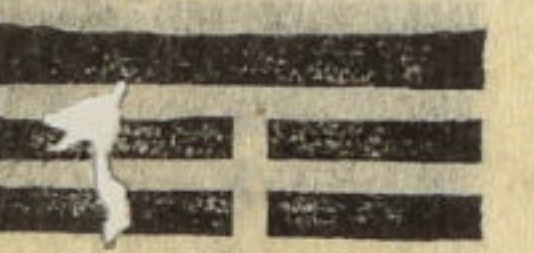




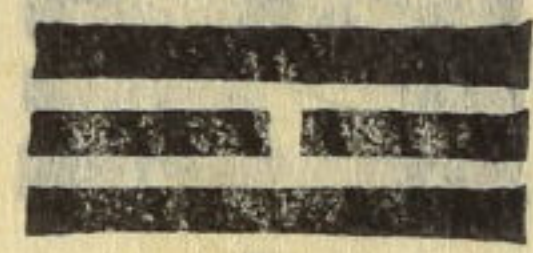
天醫 五風 巳四 辰三



禍害 四木 卯二



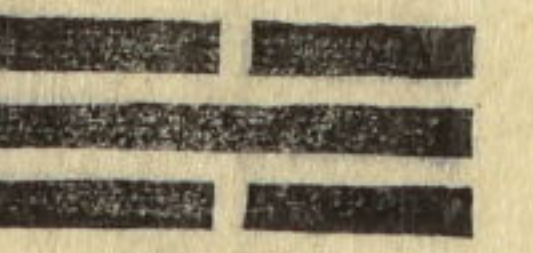
生家 七山 寅正 丑三



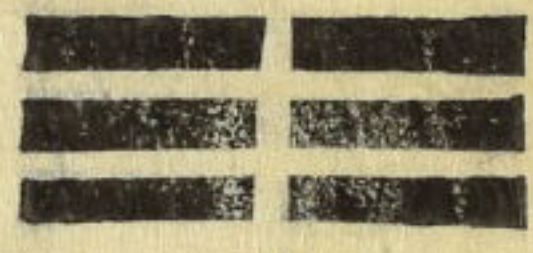
遊魂 三火 午五



不動 五 緣日子午 衰日 乙酉 癸卯



絕命 六水 子土



遊年 八土 申七 未六



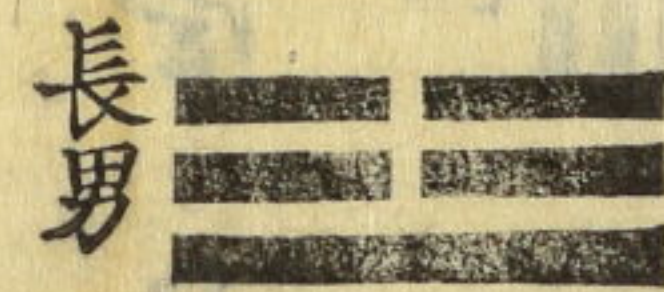
福德 二金 酉八



絕體 一天 戌九 亥十



福德 五風 巳四 辰三



生家 四木 卯二



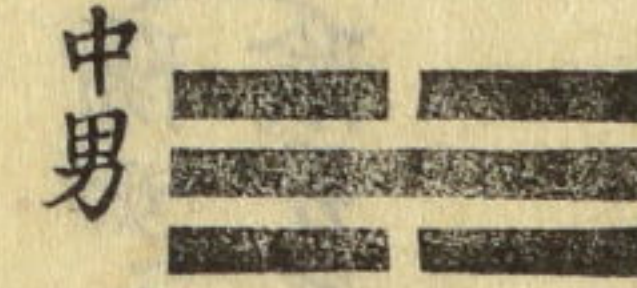
禍害 七山 寅正 丑三



遊年 三火 午五



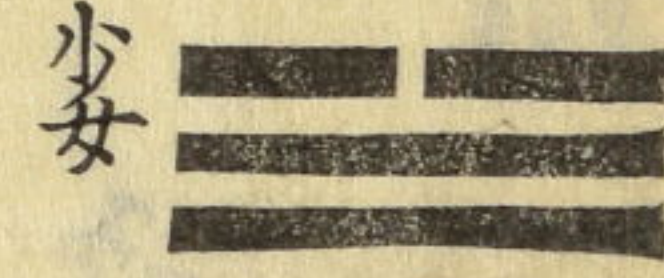
勢至 火 緣日 卯酉 衰日 甲寅 庚申



絕體 六水 子土



遊魂 八土 申七 未六



天醫 二金 酉八



絕命 一天 戌九 亥十

巳

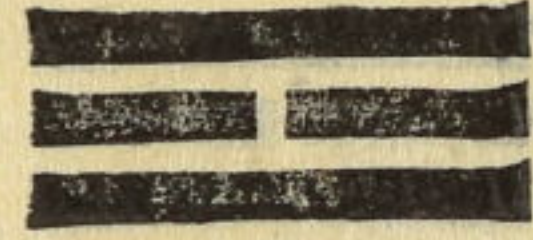
二十





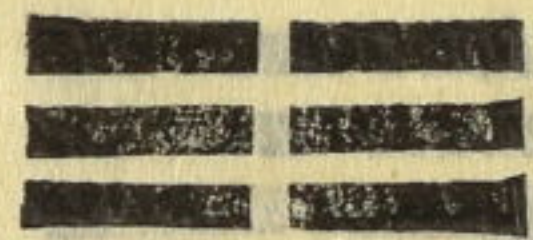
禍害

巳四  
辰三  
五風



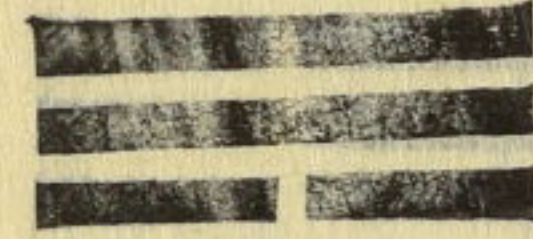
絕命

午  
三火  
五



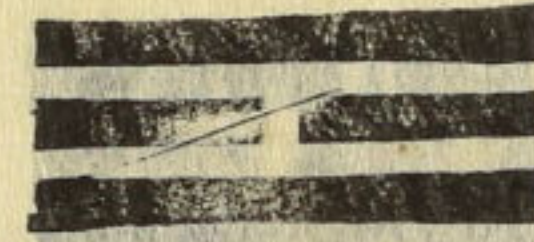
絕體

申七  
未六  
八土



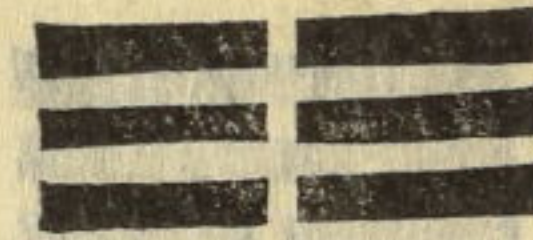
遊魂

巳四  
辰三  
五風



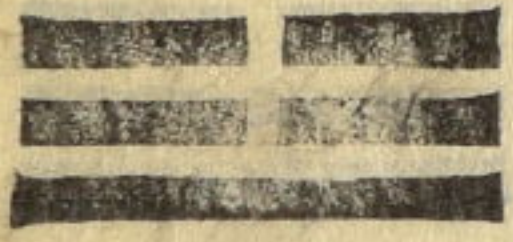
天醫

午  
三火  
五



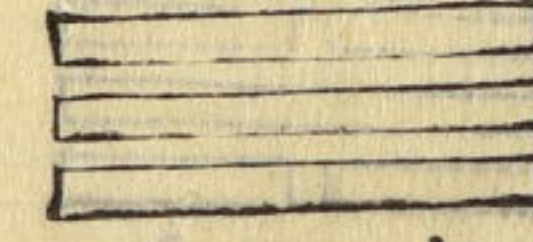
福德

申七  
未六  
八土



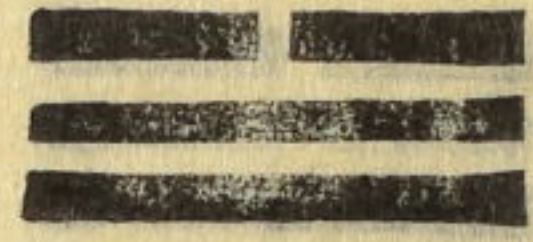
天醫

卯  
四木  
二



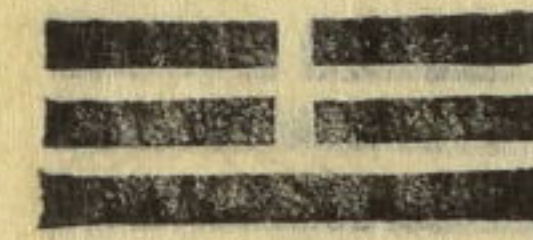
旅

中女緣  
卯酉  
天  
襄日  
丙辰  
戊戌



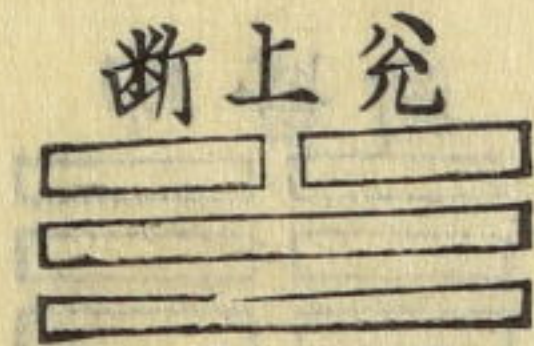
生家

酉  
二金  
八



絕命

卯  
四木  
二



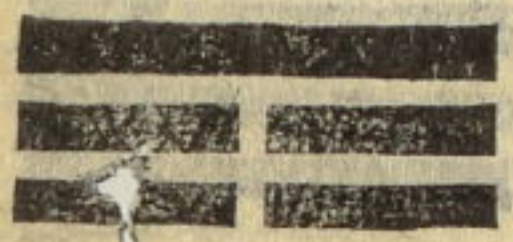
阿旻

下男緣  
日寅申  
金  
襄日  
壬子  
丙午



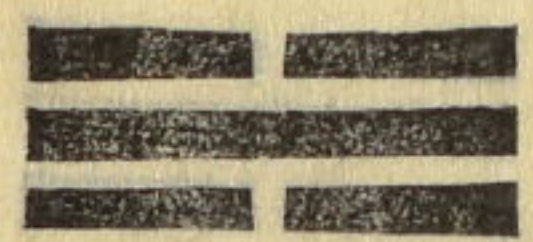
遊年

酉  
二金  
八



福德

丑土  
寅土  
七山



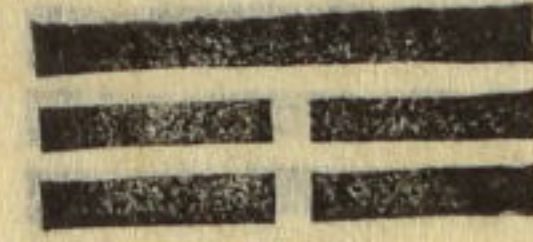
遊魂

子  
六水  
十



遊年

戌九  
亥十  
一天



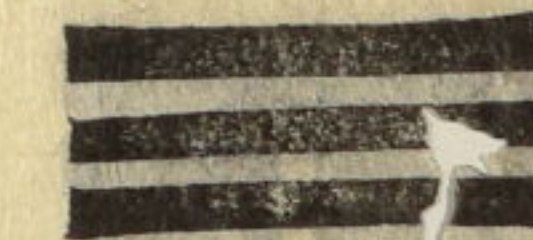
絕體

丑土  
寅土  
七山  
寅正



禍害

子  
六水  
土



生家

戌九  
亥十  
一天

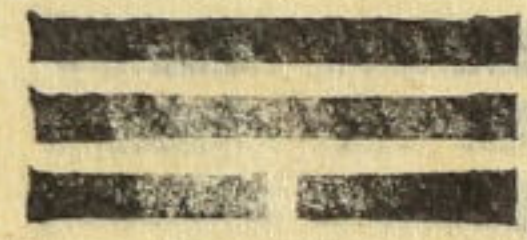
四

二十五

三

三十一





絕命

巳四  
五風  
辰三



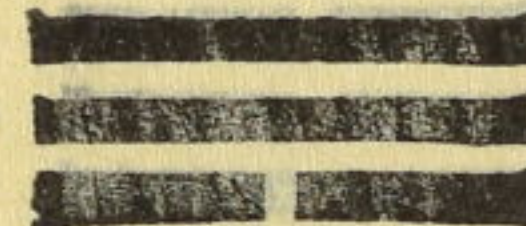
禍害

午  
三火  
五



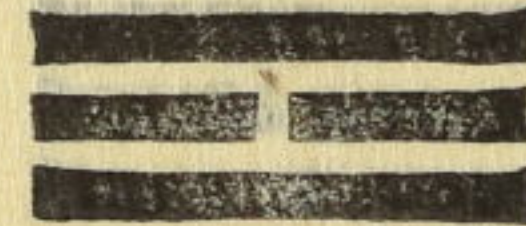
生家

申七  
八土  
未六



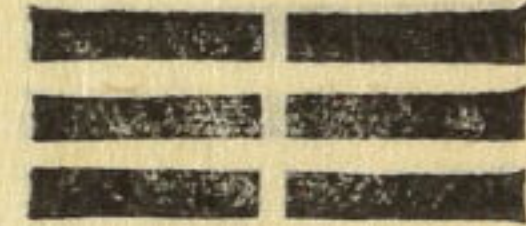
生家

巳四  
五風  
辰三



絕體

午  
三火  
五



絕命

申七  
八金  
未六



遊魂

卯  
四木  
二



緣日寅申日  
虛空藏山

巽巳  
未  
巳



絕體

酉  
二金  
八



福德

卯  
四木  
二



千手水

上安緣日巳  
巽巳  
未  
乙癸



禍害

酉  
二金  
八



遊年

丑土  
七山  
寅正



天醫

子  
六水  
土



福德

戌九  
一天  
亥十



天醫

丑土  
七山  
寅正



遊年

子  
六水  
土



遊魂

戌九  
一天  
亥十

卯

寅

卯

寅





遊年 五風  
巳四 辰三



絕體 四木  
卯二



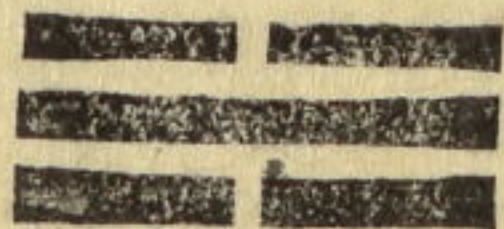
絕命 七山  
丑土 寅正



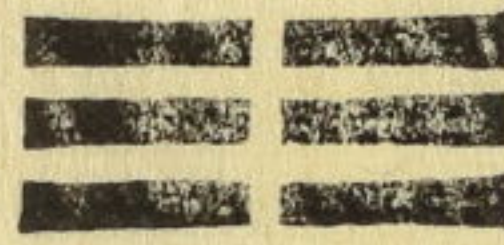
福德 三火  
午五



普賢 風  
中男 緣日子午  
妻日 甲辰 戊戌



生家 六水  
子六



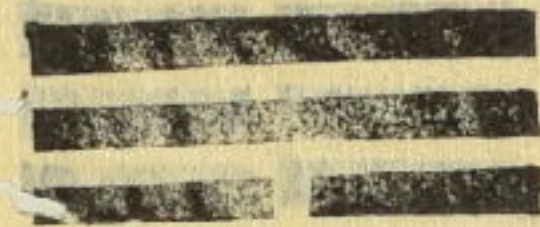
天醫 八土  
申七 未六



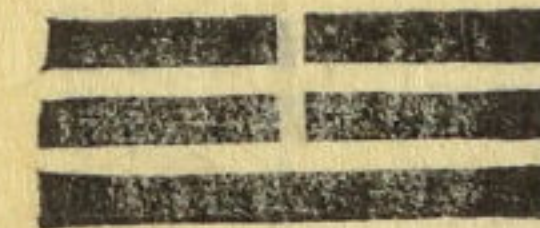
遊魂 二金  
酉八



禍害 一天  
戌九 亥十



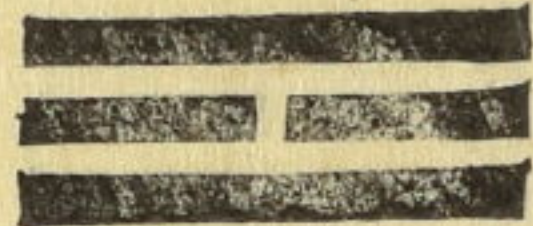
絕體 五風  
巳四 辰三



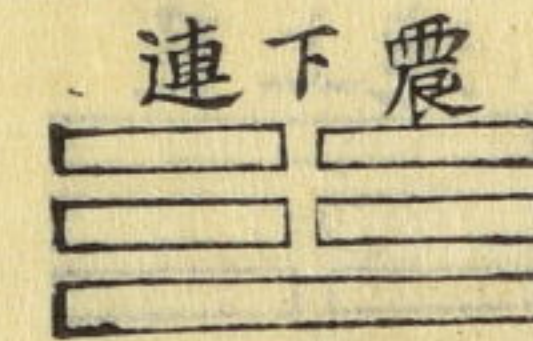
遊年 四木  
卯二



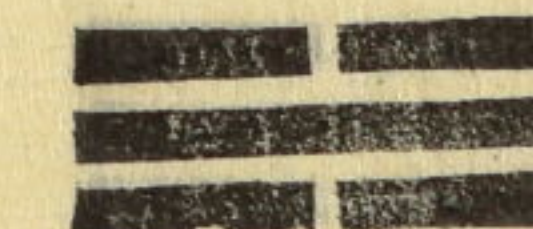
遊魂 七山  
丑土 寅正



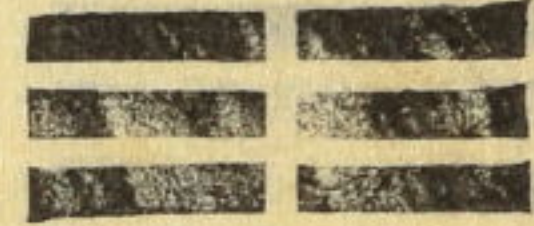
生家 三火  
午五



文殊 木  
下女 緣日子午  
妻日 乙卯 辛酉



福德 六水  
子六



禍害 八土  
申七 未六



絕命 二金  
酉八



天醫 一天  
戌九 亥十

日必下

二十五

日必下

二十四





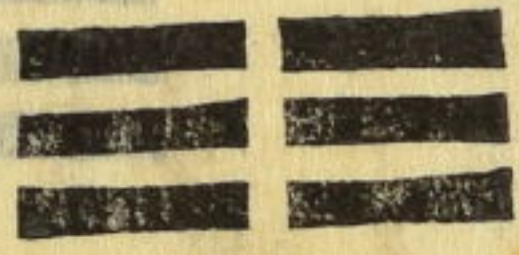




老牛射草卦

半吉 兌上 離下

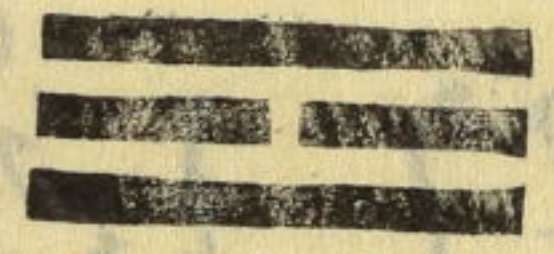
此卦至人の事 難調ふあまことし又信心あれ  
る中へ一息はれめくあひごとく  
もそあけまりやまるとも  
あまに官禄とさづけ日老又ましくれ者  
事ある也



乘雲中天卦

大凶 坤皆断

此卦至人の事 恩立不成就なる也



紫蘆營卦

半凶 離中 断

此卦至人の事 慎るる則あまらるる  
信心あまこと笑難る

第三十六 星吉凶の事

○羅睺星

毎月十日日世画のありり出給小星也

1. 商人の冠をちと云ふや 不叶 病を得てハ 難  
生死短命也 正七月ハ 瘦人ト 盗ト 兵至事 有方  
國の境目 城廻の用 然あくまへり 子ある人々







商人深可慎親類交妻の中より口舌を事あるべし  
造作を凶金姓人南より行へず性一木姓火  
姓ハ性輕水姓ハ慎重八月と慎一

○計都星 毎月廿八日申方より出流西星也此星

は商人の事より前より突難を賊物とす一なるは凶  
所と凶也病難愈六月と秋三月と計文可慎

○月曜星 毎月戌亥方より出流星也此星は商

人ハ月より向く大小役せむ方端日曜星れく也

造作事大を善友者他お行を凶秋冬暑

○正九月丙丁日を行く一む

○木曜星 毎月八日東方より出流南星也此星に

商人ハ生来を不切としか方端は吉也交妻はあ

ひ始より他軍を不思立七月を秋去用を可慎

冬より付愁を一火姓ハ吉去姓合姓ハ凶

第三十七 八卦註、八事

遊年禍害絶命の方と深可慎生氣養者福德方吉

遊年方太歳神在方より向く祈禱すべし造作せむ

禍害並過性不犯去絶命道祖神方へ不可出外

天醫商業よりしめ可飲食生氣玉女方万事吉

養者方万福來万吉 福德方万事吉 絶體方



出陣すべし。諸事可慎。遊魂方々不可作悪。表目と万事凶。級日吉。

第三十八卦よりして出行と可凶事

巽下断 不可行乾  
艮上連 不可行南  
乾皆連 不可行南  
坤皆断 不可行北  
震下連 不可行西  
坎中連 不可行南  
兌上断 不可行東  
離中斷 不可行北

第三十九卦之次第事

○離中斷火 此卦に至人の氣をよそよそ射の卦  
○されらるるなよそよそとあふり動思して者軍よせ

あ入をく味もの要害とくはへし一堅氣とい

くり人とくひせんとすこころん大徳一木姓を  
相生の相剋源凶 火姓相加凶 土姓ハ相生吉 金姓相剋相  
生半吉 水姓ハ相剋凶

○坤皆断土 此卦に至人の出行の心ありし姓を論

吉凶と起し 木姓ハ相剋相生吉 火姓相生吉 土姓ハ  
相加半吉 金姓凶 水姓相剋半吉 但し卦ハ福德の卦

座定して又姓ともよ吉

○兌上断金 此卦に至人の信心深まへし不信  
則西事未運卦とされ福德卦とされらるり



山さん中ちゆうととも可か慎しん木も姓せいハ相さう剋こく大だい凶きゆう

火か姓せい相さう剋こく半はん凶きゆう土ど姓せい相さう剋こく凶きゆう金きん姓せい相さう加か凶きゆう水すい姓せい相さう生せい吉きち

○乾けん皆みな連れん金きん け卦け至し人にんハ又また姓せいともともに去さ出しゅつ行ぎやうも吉きち

三月七月と可か慎しん但た本ほん姓せい去さ姓せいハ少せう慎しん有あへ

○坎かん中ちゆう連れん水すい け卦け至し人にんハ分ぶん國こく居き亦また氣きをを有ある

未み申しん方ほうと可か慎しん木も姓せいハ相さう生せい吉きち火か姓せいハ相さう剋こく大だい凶きゆう

土つち姓せい相さう剋こく凶きゆう金きん姓せい 他たとといいりりて吉きち水すい姓せい相さう加か凶きゆう

○艮げん上じやう連れん土つち け卦け至し人にんハ國こく家かよよたたままのの心こころをを有ある

本ほん姓せい吉きち火か姓せい吉きち土つち姓せい半はん吉きち金きん姓せい凶きゆう水すい姓せい半はん吉きち

○震しん下げ連れん木も け卦け至し人にんハ心こころ固こををりりとめ安やす堵との

心こころををとと云いふ家か運うんの座ざ卦け定さだり年ねん卦け座ざ卦け定さだり

とといいふふ心こころもも又また震しんの字じと神かみあり

とといいふふ心こころもも又また震しんの字じと神かみあり

土つち姓せい半はん吉きち水すい姓せい半はん吉きち金きん姓せい半はん吉きち

○巽しん下げ断だん風ふう け卦け至し人にんハ深ふか信しん心こころ有ある

大だい凶きゆう一いつ 正月三月九月十月を慎しんへ

思おもひひをを必かならず忘わすれれて去さ不ふ信しん有ある長なが居きとといいふ

去さ不ふ信しん有ある長なが居きとといいふ

去さ不ふ信しん有ある長なが居きとといいふ

去さ不ふ信しん有ある長なが居きとといいふ



字考也

右何いもみ姓しやうたると卦けを見みるもの其年そのとしの卦けを  
 くり出いし依姓よしやう運うんをくり月日方げつにちかたを凡ただ今いま又また星せい  
 くり合あひ身相みんあひま應おうして凡ただる物ものお八卦はつげ乃すなは明ある  
 口傳くちでん多おほ僧そう信しん教きやうも吉きち凶きやうと云いふも不信ふしん  
 孝かうの眼がん前ぜんよとひく笑わら難がたみましく勅しやく令れい  
 終しゆう一いつ神しん文ぶん軍ぐん者しや大だい將しやう乃すなは卦けをあらためく  
 宵せう元げん三さん方かた礼らい神しん丈ぢやうし先生せんせい家け次じ玉ぎよく女によ次じ地ぢ  
 次じ東とう西せい南なん水すい次じ竈かまど神しん次じ内うち介け次じ氏し神しん次じ父ふ母ぼ  
 二に方かた終しゆうするもの終しゆうし 侍用集卷第十一終





大正  
小治政  
新編



拝復 却書面 拝受いたしませう。右書も在り  
 何事と云ふ事も在り。実は右書は昨年六月晦日  
 午時をいれ、只今市川市病院に入院中、右書  
 折見が遅れ、その上、午元の資料もございませう。右  
 の事、更にお返事が遅く在り、失礼いたしませう。  
 一昨日他の用事もございませう。右書は家に帰り、調へて  
 参りませう。尤も軍法侍用集は右書の蔵書に在り、  
 又特に研究した事もなく、右書は戦前諸所  
 見事、在り、午配が在り、右書を整理して左に  
 申上げませう。

軍法侍用集

十二卷十二冊

美濃利

木版本

卷中一 武勇問答之次中	卷中七 全	中
卷中二 備勝負巻上	卷中八 全	下
卷中三 全	卷中九 日取方角之段巻一	中
卷中四 全	卷中十 全	中
卷中五 道具軍礼巻	卷中十一 全	下
卷中六 竊盜巻上	卷中十二 氣之巻	下

(以上)



序

夫當流之極秘とす。五十卷は右大将家頼朝公  
天下を治給ふの法也。(以下は小生写取してありません)

跋

省元和四戊午年中夏吉日 小笠原昨雲入道在判

刊記 (三種)

承應四乙未吉日

寺町 西田加兵衛

萬治元暦戌季仲冬吉日

寺町 松原上町 道清開刊

寛文四年三月 (これは考町十巻略写) 中村五兵衛開校

(少くも以上三原出版されてあることか判りません)

なほ本書にツいては序か跋かに、小笠原流の軍法を抜粋し  
初め私用集と作し、後に大君の意思により侍用集と改め  
たとありまゝに

又萬治版の卷中ニ見返に

古板に廿七ヶ所のあやまりあり、此内備に四ヶ所誤有、

承應四曆の板には備七ヶ所略す

とあり、卷中七ヶ所見返には



古本校に九ヶ條ありあやまりあり、委以古本校に見合せ見へき者也。昨雲正本にて合校合者也

とあり万治版を完本と主張してをりま

小笠原勝三には他に當流軍法功者書二卷、諸家評定二十卷の著書がありま

○當流軍法功者書(武士道功者書とす) 二冊 美濃判 木版本

序

後人の文

跋

于昔元和三年仲春日

小笠原昨雲勝三跋

(次に傳系)

六孫王經基

攝津守滿仲

小笠原大膳修理大夫親世

小笠原左京大夫 成隆

小笠原圓藏 幸雄

小笠原左近將監 則正



小笠原宮内大輔 氏隆

三澤朝臣南花

小笠原昨雲 勝三

刊記 (三種)

正保丁亥十一月

寺町押小路下町

慶安二年五月吉祥日

中村長右三門刊行

寺町通

林長右三門開板

○諸家評定 二十卷目録一卷 二十一冊刊

小笠原勝三著

元和七(跋の年か)

明暦四刊

諸家評定は十生未だ実物を見てをりませんが 国会  
図書館・内閣文庫(一五三番二五六号)その他にあること  
国書總目録にありませぬ 存は戦国州(すか)十生  
有馬成甫博士の所蔵してをりれた 武道要略といふ  
七巻一冊の写本(今はお新元にはないと思ひます)を  
拝見しませぬが その書中には



此書物ハ小笠原昨雲入道直作ニテ諸家評定廿一卷之内也。軍法侍用集、武家功者之書、諸家評定是ヲ三部之書ト云フ。昨雲入道作書とあるのを写して置きました。尚参考に在れば幸甚也。

小笠原勝三にッては当流軍法功者書の序に

粵小笠原昨雲入道者為人沈勇有大略一從小笠原左近將監則正公累歲盡忠勳往々蜚威名為一國之巨擘也。文師捏窩老人凡於講書六藝百家衆技武備七書等書博覽強記盡無不究於其奧旨矣。武繼源家正統且用兵於步伐奇正止齊攻守之法皆的當于矩規準繩矣。天下之士未能或之先固一世之雄也。

とありま。軍法侍用集を讀めばまた何か判ると思ひます。今は申上りの材料がございませぬ。よく讀みしさい本のことさいふのは輕々しいことですが。此水まで漢然と一左感しては軍法侍用集の全体は小笠原氏隆系の訓閱集系統の純粹に近しい祖述といふより

二五七九  
略記最上卷(永録八)



相当自由な咋雲の集成的編著といふべきもので  
 ないかといふやうな気がしてをります。もうすぐ今日  
 末に先生は退院いたしますが、まだ少時間重を自宅  
 療養を要し、まづこの急に調査も出来ませんが、何れ  
 少一立入って見たいと思つてをります。何か御参考の  
 事やうなことが見付かれれば又申上げます。  
 先生もお心付りことがございませうたら、お聞かせ下さ  
 いませ。

敬具

二月二十一日

島田貞一

神田 茂 様



No. \_\_\_\_\_

軍法侍用集

卷中九目錄

日取方角文段卷一

一、天道てんたうじん神の方ほうをを知ち事し

二、歲德神さいとくじん之方のほうを知事

三、八將神はっしやうじん之方のほう之事

四、八將神はっしやうじん方のほう吉凶きちうを知事

五、天德神てんとくじん方のほう之事

六、金神きんじん七殺しちせつ之方のほうを知事

七、同方異說どうほういせつ之事

書影抄所蔵全六冊  
209  
1556

続群書類従完成会



No.

四十四	四十三	四十二	四十一	四十	(中略)	十	九	八
同使	命業胎	命業胎	曜宿廻	曜宿行		金神四	金神四	金神每
日	之宿	之三	様	行之		季	季	月
を	くり	宿之	之事	之事		向	遊	遊
知	や	事				日	行	行
事	う					之	之	之
	の					事	事	方
	事							事

5

10

15

20

統群書類従完成会



No. \_\_\_\_\_

六	五	四	三	二	一			四十五
相剋の相生と云事	相生相剋を知事	悪日をつかさ傳授之事	日取習之事	毎日吉日悪日之事	一枚曆之事	日取秘傳卷下	卷第十一目錄	宿之本姓を知事
5								
10								
15								
20								



No.

三十六	星吉凶之事
三十五	卦之吉凶之事
三十四	卦をかぞゆる事
三十三	八卦さんかりやう同捨様之事
三十二	六十圖之事
三十一	敵首捨方之事
三十	兵具作大吉日之事
	(申略)
七	相生の相剋と云事

5

10

15

20



三十七	八卦註之事
三十八	八卦によりて出行を可凶事 <small>ソモバキ</small>
三十九	八卦之次序之事
	卷第十二目録
	氣之卷
	(一) 三十七より
	卷第十二の終り
	卷末の記
	右十二冊者枝萃一流之奥旨分誌近代之勝負者也其如

5

10

15

20







新文... 三月... 日... 上... 共... 行... 只

... 日... 年... 十... 月... 日

... 人... 入... 進... 入... 進

... 人... 入... 進... 入... 進

... 人... 入... 進... 入... 進

... 人... 入... 進... 入... 進

...